

令和6年度 小山第二小学校の教育活動の評価結果について（お知らせ）

令和6年度の本校教育活動の評価について、結果を取りまとめました。保護者の皆様からいただいた評価を真摯に受け止め、今後の取組に反映して参ります。引き続き、本校の教育活動に御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。なお、この結果は、小山第二小学校ホームページに掲載することを申し添えます。

心 心の豊かなたくましい子ども【心づくり】に関する評価



【集計結果】

| No | 項目 | 児童の評価 [%] | | | | | 保護者の評価 [%] | | | | |
|----|---|-----------|------|------|------|-----|------------|------|------|------|-----|
| | | ◎ | ○ | ◎○の計 | △ | × | ◎ | ○ | ◎○の計 | △ | × |
| 1 | 子どもは、友達を大切にし、笑顔で過ごしている。 | 70.8 | 25.4 | 96.2 | 3.1 | 0.8 | 55.5 | 35.3 | 90.8 | 6.7 | 2.5 |
| 2 | 子どもは、違う学年の児童や地域の方と活動したり、実物を見たり触れたりして学習する機会を持っている。 | 50.0 | 39.2 | 89.2 | 9.2 | 1.5 | 41.2 | 42.9 | 84.0 | 13.4 | 2.5 |
| 3 | 子どもは、元気に挨拶や返事をしている。 | 56.9 | 34.6 | 91.5 | 7.7 | 0.8 | 35.3 | 39.5 | 74.8 | 21.8 | 3.4 |
| 4 | 子どもは、約束やきまりを守って生活している。 | 60.0 | 32.3 | 92.3 | 6.9 | 0.8 | 31.1 | 53.8 | 84.9 | 12.6 | 2.5 |
| 5 | 子どもは、友だちや教職員に自分のよさやがんばっていることを認められている。 | 52.3 | 32.3 | 84.6 | 10.8 | 4.6 | 30.3 | 53.8 | 84.0 | 12.6 | 3.4 |
| 6 | 子どもは、教職員に話を聞いてもらったり、悩みの相談に応じてもらったりしている。 | 48.5 | 30.8 | 79.2 | 15.4 | 5.4 | 25.2 | 50.4 | 75.6 | 21.0 | 3.4 |

【成果がみられた項目】

項目1「友達を大切にし、笑顔で生活」については、児童と保護者の肯定的評価の平均は約94%でした。児童の評価では、項目2「体験学習の充実」・項目3「挨拶や返事の励行」・項目4「約束やきまりの順守」の肯定的評価が、令和5年度と比較して向上しました。

【課題がみられた項目】

項目3「挨拶や返事の励行」については、保護者の肯定的評価は児童に対して低く、家庭や地域での励行に課題の指摘がありました。また、項目6「子どもの悩みや相談への対応」については、児童・保護者共に肯定的評価が80%を下回っており、教職員の対応に改善が必要と考えます。

【今後の主な取組】

- ・毎月の心の相談カード、定期的な教育相談、児童の学校生活への意欲や学級の満足度を把握するためのアンケートの実施により、課題の早期把握と対応を行います。あわせて、教職員は日常生活における児童との会話を大切にすることを学校の方針に定め、自己・相互点検する機会を設けます。
- ・挨拶やきまりの順守について、その意義を繰り返し考えさせたり確認させたりすることにより、実践意欲を高めます。また、児童の創意や主体性の発揮、他者との関わりをとおしたコミュニケーション能力の育成の機会とするために、異学年班活動や児童会活動を年間計画に位置付けます。

頭 よく考え 進んで学ぶ子ども【頭づくり】に関する評価



【集計結果】

| No | 項目 | 児童の評価 [%] | | | | | 保護者の評価 [%] | | | | |
|----|----------------------------------|-----------|------|------|------|-----|------------|------|------|------|------|
| | | ◎ | ○ | ◎○の計 | △ | × | ◎ | ○ | ◎○の計 | △ | × |
| 7 | 子どもは、目標を持って学習に取り組んでいる。 | 60.0 | 28.5 | 88.5 | 11.5 | 0.0 | 20.2 | 48.7 | 68.9 | 26.1 | 5.0 |
| 8 | 子どもは、授業の内容を理解している。 | 60.8 | 29.2 | 90.0 | 6.2 | 3.8 | 19.3 | 59.7 | 79.0 | 19.3 | 1.7 |
| 9 | 子どもは、自分から考えたり、友達と伝え合ったりして学習している。 | 56.9 | 33.1 | 90.0 | 7.7 | 2.3 | 20.2 | 50.4 | 70.6 | 26.1 | 3.4 |
| 10 | 子どもは、進んで読書をしている。 | 55.4 | 23.1 | 78.5 | 20.0 | 1.5 | 24.4 | 21.8 | 46.2 | 40.3 | 13.4 |
| 11 | 子どもは、学習でタブレット（ICT機器）を活用している。 | 63.8 | 23.8 | 87.7 | 8.5 | 3.8 | 26.1 | 36.1 | 62.2 | 19.3 | 18.5 |
| 12 | 子どもは、家庭学習（宿題・自主学習）の習慣が身に付いている。 | 70.8 | 19.2 | 90.0 | 6.9 | 3.1 | 39.5 | 42.0 | 81.5 | 15.1 | 3.4 |

【成果がみられた項目】

項目12「家庭学習の習慣」については、児童と保護者の肯定的評価の平均は約86%でした。児童の評価では、項目8「授業内容の理解」・項目9「主体的・対話的な学習の取組」の肯定的評価がいずれも90%であり、児童は自分自身の学習への取組を前向きに評価しています。

【課題がみられた項目】

項目10「読書の習慣」については、児童と保護者の肯定的評価の平均は約62%であり、全項目中で最も低い割合でした。そのほか、項目12以外の保護者の肯定的評価は児童に対して約20ポイント以上低い結果となっており、日常の姿として児童の学習への取組がうかがえないものと推察します。

【今後の主な取組】

- ・体験的な学習や問題解決的な学習を計画的に位置付けるとともに、タブレット（学習者用一人一台端末）を活用し、児童が主体的に考えたり友達と対話したりしながら学習を進める時間を確保します。タブレットについては、保護者の協力を得て家庭への持ち帰りを推進し、家庭学習の充実にもつなげます。
- ・児童の読書習慣の定着に向けて、引き続き、朝の読書時間の確保、「おすすめブック」の提示、読み聞かせボランティアによるお話会の開催や家読週間の設定を行います。あわせて、関係のたよりやホームページを利用して、本校における読書活動の周知、読書の効果や家庭における取組例等の情報提供を行います。

体 体をきたえる 元気な子ども【体づくり】に関する評価



【集計結果】

| No | 項目 | 児童の評価 [%] | | | | | 保護者の評価 [%] | | | | |
|----|--|-----------|------|------|-----|-----|------------|------|------|------|------|
| | | ◎ | ○ | ◎○の計 | △ | × | ◎ | ○ | ◎○の計 | △ | × |
| 13 | 子どもは、進んで体を動かしたり、外で遊んだりしている。 | 70.0 | 20.0 | 90.0 | 8.5 | 1.5 | 51.3 | 25.2 | 76.5 | 18.5 | 5.0 |
| 14 | 子どもは、けがや病気の予防に気を付けている。 | 80.0 | 14.6 | 94.6 | 3.8 | 1.5 | 25.2 | 52.9 | 78.2 | 17.6 | 4.2 |
| 15 | 子どもは、ゲームやインターネットの約束を守っている。 | 62.3 | 27.7 | 90.0 | 8.5 | 1.5 | 21.0 | 42.0 | 63.0 | 22.7 | 14.3 |
| 16 | 子どもは、早寝・早起き・朝ごはんを心がけて生活し、食事を好き嫌いなく食べている。 | 49.2 | 37.7 | 86.9 | 9.2 | 3.8 | 29.4 | 44.5 | 73.9 | 16.8 | 9.2 |
| 17 | 子どもは、学校の避難訓練や交通安全教室などで学んだことを生かして、安全に気を付けて生活している。 | 78.5 | 18.5 | 96.9 | 2.3 | 0.8 | 45.4 | 48.7 | 94.1 | 5.9 | 0.0 |

【成果がみられた項目】

項目 17「安全教育の充実」については、児童と保護者の肯定的評価の平均は約 96%であり、全項目中で最も高い割合でした。また、項目 13「体を動かす習慣」については、児童と保護者の◎（よくあてはまる）の評価の割合はいずれも 50%を超えており、令和 5 年度と比較して向上しています。

【課題がみられた項目】

項目 15「ゲームやインターネットの約束の順守」については、保護者の肯定的評価は児童に対して約 30 ポイント以上低い結果でした。そのほか、項目 14「病気やけがの予防」・項目 16「生活習慣・食習慣」では、保護者の肯定的評価は児童に対して低い結果であり、認識に差がみられます。

【今後の主な取組】

- ・児童の運動の習慣化を図るため、体力づくり期間の設定や休み時間の外遊びの奨励に取り組みます。関係教科の学習や学級活動等では、規則正しい生活、バランスのよい食事、ゲームやインターネットの安全な利用について、児童が自分自身の生活習慣を振り返り実践につなげるための学習を行います。
- ・避難訓練や交通安全教室において児童が判断する場面を意図的に設け、自分や友達の命を守るための適切な行動に対する意識を高めます。また、登下校時の安全指導は年間を通して実施します。

保護者自由記述：子どもにはどのような子どもに育てほしいか

保護者からいただいたご意見で、多く挙げられた目指したい子どもの姿や大切にしたい価値等を次のとおり集約しました。次年度の教育計画に反映させていただきます。

【思いやり・助け合い】 思いやりのある子ども・他人の気持ちを理解し、助け合える子ども

【自主性・主体性】 自主的に考えて行動できる子ども・自分の意見を持ち、発信できる子ども
勉強が好きになる子ども、視野を広げいろいろなことにチャレンジする子ども

協 学校・家庭・地域の連携に関する評価 ※児童の評価はありません



【集計結果】

| No | 項目 | 保護者の評価 [%] | | | | |
|----|--|------------|------|------|------|-----|
| | | ◎ | ○ | ◎○の計 | △ | × |
| 18 | 子どもは、二中ブロックの小中一貫教育（挨拶・家読週間・学習のきまり・自問清掃）に取り組んでいる。 | 19.3 | 55.5 | 74.8 | 21.8 | 3.4 |
| 19 | 学校からの各種たよりやホームページなどで、子どもの活動の様子が紹介されている。 | 29.4 | 57.1 | 86.6 | 11.8 | 1.7 |
| 20 | 子どもは、保護者や地域の方から、学習、生活、行事等において協力や支援を受けている。 | 47.9 | 45.4 | 93.3 | 5.9 | 0.8 |

【成果がみられた項目】

項目 20「保護者や地域の方の協力・支援」については、保護者の肯定的評価で高い結果を得ています。

【課題がみられた項目】

項目 18「小中一貫教育の取組」については、保護者の肯定的評価は約 75%であり、令和 5 年度と比較して、10 ポイント程度減少しました。

【今後の主な取組】

- ・学校の教育活動や小中一貫教育に対する理解を促進するため、各種たよりやホームページに掲載する内容を検討し、定期的な情報発信を行います。
- ・「地域とともにある学校」づくりを推進するため、引き続き、学校運営協議会、PTA 運営委員会等の関係会議において、保護者や地域住民等の意見聴取や協議を行い、教育活動に反映します。あわせて、学校行事や学校支援ボランティア等により、多くの方に来校いただく機会を設けます。

保護者自由記述：本校の教育活動に対する意見・感想等

保護者からいただいたご意見・ご感想を次のとおり集約しました。改善が必要な点については、教職員や P T A で対応を検討して参ります。

- 子どもたちの成長
 - ・子どもたちが学年や男女を問わず仲良くしている姿が見られる。
 - ・他学年との交流が多く、良い影響を受けている。
 - ・少人数のクラスでのびのび過ごせている。
 - ・自主学習の取り組みが良い。
- 学校の環境
 - ・学校の活動がホームページで見られるのが良い。
 - ・先生方が温かく見守っており、感謝している。
 - ・子どもの良いところを見つけて認めてくださる先生がいることで、安心して登校できている。
- ▲ 宿題について
 - ・宿題が少なく家庭での勉強の習慣がつかない。
 - ・宿題が多くて取り組むのが大変である。
 - ・自主学習が宿題になっている。
- ▲ 挨拶について
 - ・旗当番のときに挨拶を返さない子が多い。
 - ・学校外での挨拶ができていない。
- ▲ リモート授業について
 - ・病欠時にもリモート授業を受けられるようにしてほしい。
- ▲ 清掃について
 - ・校舎内の清掃に力を入れてほしい。
- ▲ P T A 活動について
 - ・ P T A 役員・委員の負担が大きい。
 - ・旗当番の頻度が高く、負担が大きい。
 - ・登校班編制の考え方見直しが必要である。